

リオパラリンピック選手団団長 大槻 洋也先生 講演会



12月4日（日）、いなりやま福祉会では職員研修の一環として、現至学館大学教授でもある大槻洋也先生にお越しいただき、講演会を行いました。

「パラリンピックから障がい者のスポーツを考える」という演目のもと、パラリンピックでの経験や裏話まで、普段中々聞けないようなことをたくさんお話いただきました。

大槻先生は「失ったものを数えるな、残された機能を最大限に生かせ」の理念のもと、競技指導や後進の指導にあたっておられ、その実例としてあるアスリートの紹介がありました。アメリカのあるアーチェリー選手は、生まれつき両腕がありませんでした。ですが、アーチェリーをやりたいという本人の強い思いで考えたやり方が、足で弓を持ち、特殊な器具を使って肩で矢を引くというやり方でした。その選手は、リオパラリンピックでは銀メダルを獲得しています。このように、「なにができないではなく、なにができるか」という考え方をすることで、可能性は無限大なんだとお話してくださいました

世界の第一線でご活躍されている大槻先生から、多くのことを学ばせていただきました。東京パラリンピックに向け、更なる先生のご活躍をふるさとから応援させていただきたいと思っております。また、利用者、家族、地域の方、職員も含め全体で約70名と多くのご参加をいただきました。ありがとうございました。

生活介護はなたば建設資金作り

☆募金活動☆

新しく建設予定の『はなたば』に向けて、現在生活介護はなたばでは、資金作りの活動を行っています。その一つとして、11月、12月に2回ずつ、長野駅前での募金活動を行いました。寒い中での活動でしたが、皆さん「新しく建てる施設の建設募金をお願いします！」と、大きな声で呼びかけていました。そんな皆さんの頑張りにより、短い時間でしたが多くのご寄付をいただく事ができました。ご協力いただいた皆様、本当にありがとうございました。募金活動は今後も続けていく予定ですので、駅前で見かけたらぜひ、ご協力をお願いします。



長野駅前での募金活動の様子

☆はなたばの歌『ベストフレンド』CD 好評発売中！☆

今年、「はなたばの歌を作りたい」という皆さんの話から始まり、所長の安藤さん指導のもと、歌詞は仲間が考え、良い曲を作ろう！と試行錯誤して...ついに曲が完成しました！演奏や歌だけでなく、ジャケットから、全ていなりやま福祉会で作り上げた、素敵なCDができました。このCDも資金作りの一つとして、1枚500円で販売しています。ぜひ多くの方に聴いていただけたらと思います。



仲間の作ったビーズストラップ付き
CDジャケット